

エチオピア ティグレ人民解放戦線と交渉すべきではない

Prensa Latina (Cuba)

Addis Ababa, Aug 28

エチオピア ティグレ人民解放戦線と交渉すべきではない

[Rejection in Ethiopia to government negotiation with Tigray Front](#)



学識経験者たちが、政府とティグレ人民解放戦線（TPLF）との交渉を停止するよう求めた。

彼らは TPLF を平和への最大の脅威と考えている。

彼らは国際社会の一部と TPLF 支持者の主張する「紛争の平和解決」に反対している。そして政府支持のデモを励ましている。

ジンマ大学の保健・衛生学部長である S.メコンネンはいふ。

TPLF と交渉する理由はありません。それは道徳的に正しくなく、いかなる観点からも受け入れられません。

そのような選択は私たちの国を不安定にだけです。それは結局のところ屈辱的な交渉でしかありません。ティグレイまで出向いて、相反する利益について議論しても、それは TPLF が国防軍（FDNE）の北部司令部を攻撃するための準備期間を与えるだけです。

「合意」は不公平です。そのような合意は破棄すべきです。

もしそれが「交渉」という名の下に生き残るならば、それは国を滅ぼすことになるでしょう。

アダマ科学技術大学の化学工学部長 A.ゴンファはこういふ。

議会によってテロリストと宣言された組織と交渉することは、倫理的にも法的にも賢明ではありません。彼らがこの国を破壊しようと決意していることを示す証拠があります。交渉の提案は煙幕にすぎません。

TPLF との議論は検討することさえ不可能です。

彼らは日々、民間人を虐殺しています。テロリストとして、みずからを確認している連中との取引はあり得ません。